



早川 浩徳 議員

コロナ禍における縁結びを望まれる方へのサポートの現状と今後について

問

コロナ後を見据えた縁結び支援の取り組みは

答

婚活ツアーの企画など積極的に情報発信していくことが大切と考えています。

問 過去3年間程度の本市の婚姻数の推移は。

答 子ども未来部長

平成30年度が147件、令和元年度が167件、令和2年度が152件、令和3年度が9月末までの半年間が47件で、コロナ禍の影響を懸念しています。

問 本市でのオンライン婚活の実施状況は。

答 子ども未来部長

「子育て応援利用者支援事業」として、出会いから子育てまで一連の支援を民間事業



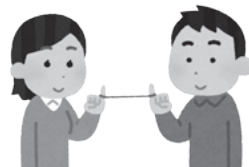
者に委託して実施しており、その中で男女の出会いに関する各種事業や支援を行っています。県主催のオンライン婚活の案内や支援のほか、婚活イベントとして「社会人サークルTakashima」を定期的に開催し、その中で遠隔会議システムによる開催も試みています。

問 コロナ後を見据えた縁結び支援の取り組みは。

答 子ども未来部長

同様の事業を行う近隣の自治体と連携するなど、少しでも多くの方にご参加いただき、出会いのきっかけを増やす取り組みが必要と考えています。高島市の方同士はもちろん、市外から多くの方に来ていただき、市内で結婚を望んでいる方とご縁がつながるよう、高島市の自然や環境のすばらしさ、また結婚後の充実した子育て支援策などを全面に出した婚活ツアーを企画

し、特に都市部に向け積極的に情報発信していくことが大切であると考えています。



問

長浜市、米原市、福井県の嶺南地域や小浜市等、縁結びに積極的に取り組まれているところとの交流や連携はどのように考えているか。

答 子ども未来部長

結婚ということ想定すると、近隣自治体のほうが現実的と考えられるかもしれませんが、コロナ後は、都市部はもちろん、そうした周辺自治体に対しての連携など、様々なアプローチを検討していきたいと考えています。

その他の質問

○高島市の子どものための教育環境のさらなる充実にむけて